

意思疎通の現状と課題について

牧野委員

- 体験1 大村知事が国会議員だったころ、地元障害者の発表会によく来て頂きました。クリスマス会、ひなまつり会には来賓としてお招きをしまして挨拶をしていただきます。その挨拶の時に手話で挨拶をしていただきました。その後、口頭で説明がありました。
- 体験2 地元、社会福祉協議会の二団体（身体・知的）合同総会では要約筆記と手話による支援がありました。要約筆記はOHPを使い記録者2名が交替しながら記録をしていました。手話は2名の方が交替しながらステージの右のほうで、どちらも最後までしていただきました。
- 感じた事 この委員会に出席するまでは、身体・知的の会のことを考えていたわけです。
私には手話がわかりませんでした。今は必要を感じています。
障害者が訴える方向は障害を持たない人に向かっていますが、障害を持つ者がお互いを理解しあえば、地域の中で生きることがよりよくなると思います。